

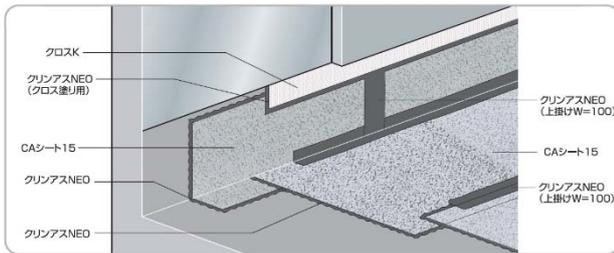


[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-235/2026年9月13日
[技術の名称]	環境配慮型常温アスファルト防水「クリンアス NEO 工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	日新工業株式会社

[技術概要]

本工法は、改質アスファルトルーフィング1層を湿気硬化型の1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料を塗布しながら施工する常温工法であり、火気を使用しないで施工できる防水工法である。

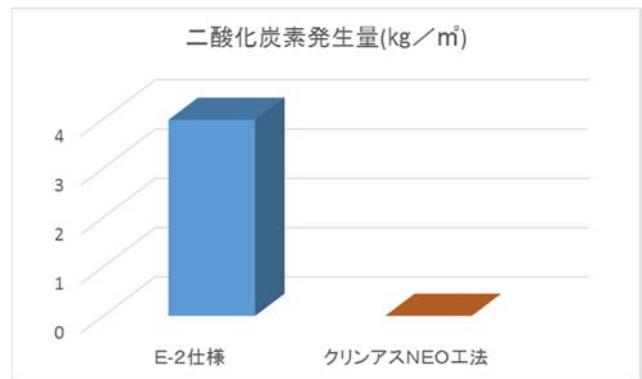
■RCN-100 仕様



等の防水性能を有しながら、湿気硬化型の1液常温改質アスファルト系塗膜防水材料を使用して常温で施工可能な工法とし、火気の使用がないために、臭気・煙の発生が抑制され、作業者の安全及び作業環境・近隣環境に配慮でき、更に改質アスファルトルーフィングを使用することで、品質向上による工程削減・軽量化を図ることを目的として開発したものである。

平場部

工程	材料 (使用量)
1	クリンアス NEO (1.2 kg/m ²) (クリンアス)
2	CAシート15
3	クリンアス NEO (接合部 0.2 kg/m) (クリンアス)



立上り部

工程	材料 (使用量)
1	クリンアス NEO (1.2 kg/m ²)
2	CAシート15
3	クリンアス NEO (接合部 0.2 kg/m)

[開発の趣旨]

既存のアスファルト防水は、防水工事用アスファルトを熔融釜で熔融させ、ルーフィングを積層して防水層を形成する工法である。その際には、熔融釜にて240~280℃程度にアスファルトを加熱熔融させるので、以下のような問題がある。

- (1) 火災・火傷等の安全・衛生上の問題
- (2) 燃料消費・二酸化炭素の発生及び臭気・煙等の環境上の問題
- (3) ルーフィング積層工程数に応じた防水層の重量増、使用材料及び作業工程数が多い等の作業効率上の問題

本工法は、既存アスファルト防水熱工法と同

[開発目標および審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 既存アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有しているものと判断される。
- (2) 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費・二酸化炭素の発生及び臭気・煙の発生が抑制され、作業環境・近隣環境の改善が図れるものと判断される。
- (3) 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数の削減及び施工の簡易化により作業効率が向上するものと判断される。

[本技術の問合わせ先]

日新工業(株) 営業統括部屋上関連事業推進室
TEL 03-3882-2571